



社会福祉法人 薄光会 広報誌

ま

ら

め

ま



第 4 号



豊岡光生園前の薄墨色をした早咲きの桜

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~hakukou/>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成17年3月31日

社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、豊岡光生園：〒299-1742 千葉県富津市豊岡 3535-1

TEL 0439-68-1711

三 芳 光 陽 園：〒294-0825 千葉県安房郡三芳村上堀 280

0470-36-3211

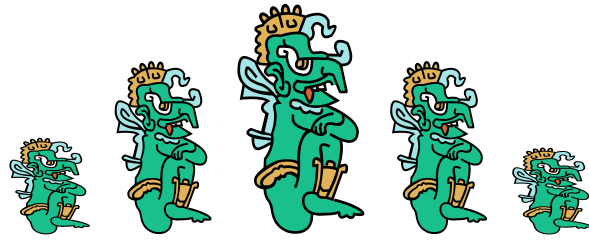
鴨川ひかり学園：〒299-2854 千葉県鴨川市代 1297

04-7099-3311

湊ひかり学園：〒299-1607 千葉県富津市湊 934-18

0439-70-6551(デイ)

0439-70-6552(通所)



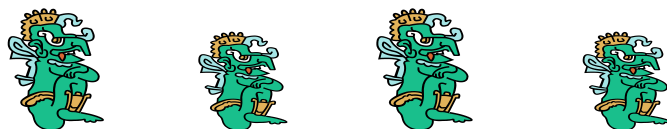
あるとき君は

あるとき君は、知らない国の知らない街に
テレポートしちゃうんだ。
そして、君はおなかが痛くなるんだ。
トイレに行きたくてあせって探すんだ。
でも、ない！ どこにもない！
言葉もまったくわからない。つうじない。
あせる、あせる、「もれそー、た、す、け、て、く、れー」
身振り、手振りもつうじない。
文化や生活様式が絶望的に違うからだ。
通りかかった人たちが、君のしぐさを見て笑うんだ。
指差してささやきあう人、白い眼を向ける人、
ぎょっとしてまん丸目玉をした人もいる。
君は、この人たちが君の状況を
分かってくれていない事だけは、分かるんだ。
でも、問題は解決していない。「う、もれるうー」
えーい、しょうがない！
君は木陰でうんこをひりだす。
その直後、高貴な羽飾りの服を着た数人の男に
君はボコボコにされていた。眼には星、鼻血がたれた。
君がうんこをひりだした所は、
共同体の神聖な場所だったのだ。
そこで君は目が覚めた。
君の目の前に顔なじみの重度の知的障害者が微笑んでいた。

H. T

弱毒性エピグラム

豊岡マルティアリス



園だより

「いったい何が？」



シヨートステイを利用しているタツオさん。光生園を利用しはじめてすべに、みさ子さん（みーちゃん）に心を奪われたようでした。

タツオさんは、足腰の筋肉が衰えていて、支えられないと歩くことが困難なはずなのですが、おぼつかない足取りで、みさ子さんに近づいては顔を見つめ、肩を組み、あれやこれやの作戦で、振り向かせようと必死でした。そのうち、「みーちゃん」とかすれた声で囁くようになるほど、タツオさんはみさ子さんに夢中だったのです。（タツオさんは言葉話しますが、なかなか何を言っているのか聞き取ることが難しく、しゃがれた、ものすごく大きな声なのです）

みさ子さんも、それだけ夢中になられては悪い気はしなかったはず。少しずつタツオさんの眼差しに目を向け、肩を組まれるのを嫌がらなくなり、二人が隣同士で座っているのが愛らしく思えるほどにまで二人の距離は近づいたのです。しかし・・・

急に態度を変えたのはタツオさんでした。いつものようにタツオさんの隣に座り、顔を近づけたみさ子さんに、嫌そうな表情で顔を背けてしまうタツオさん。

あれほどにまで恋焦がれていた、みーちゃんからそばに寄り添ってくれるようになったというのに・・・今まであんなに積極的に熱烈ラブコールを送っていたのに・・・彼の中でどんな心境の変化があったのでしょうか？ いったい何が起きたのでしょうか？

彼にしかわからない心の変化。当然みさ子さんにも理解できないでしょう。

タツオさんを見つけると、他に何も見えていないかのように、まっしぐらに近づき、手を握り、目を見つめ、ほほを寄せているみさ子さん。顔を背けられても、「私を見て」と言わんばかりに自分のほうに顔を向けさせています。遠くからタツオさんを見つけては、顔を赤くさせ、体全体で嬉しさを表しています。

当然のことながら、バレンタインデーは一目散にタツオさんへ。（毎年みさ子さんは、決まった男性にチョコを渡さず、どちらかというとバレンタインデーは関係ない派でした）

この先、この二人の恋の行方はどうなるのでしょうか？ 背を向けられても、追いかけるみさ子さん。追われるから逃げていくのかタツオさん。「嫌よ、嫌よも好きのうち」 ならいいんですけど・・・

（男は、女とちがうんだぜ。



ちよっと軟派してみただけなのに。

俺って、悪い男かなあ・・・ タツオ）

とよおか芸能記者 光子

「新入所者 かずみさん」

睡眠時間は二〜三時間、椅子に座っていることすら落ち着かないようで、トイレで用を足すというのも一苦労。昼夜を問わず園内を行ったり着たり歩き回り、職員の声かけにも、まったく無反応。下ばかりを向き、衣類の端や、落ちている紙くずを拾っては手でもんでいた彼女。食事は、ほとんど手づかみに近く、飲み込みづらいものは口から出してしまっていた彼女。

光生園を利用して八カ月、名前を呼ぶ職員の声に顔を上げてくれるようになりました。眠らない彼女に、日中、様々な体験をさせて神経を使ってもらうなどの試みをし、今では安定した七時間の睡眠時間。排泄も和式トイレで、一緒に息張ることから始め、様式のトイレでもしっかりと自分で息張ります。トイレへ自分から入ることもあり、職員を喜ばせてくれます。

食事も、自分で食べるようになり、口から出してしまふこともほとんどなくなりました。

無表情で、目線もあわず、ため息ばかりついていた彼女は、「きききききき」と声を出し笑うことも・・・嫌な顔、嬉しい顔、悲しい顔、色々な表情を見せてくれる様になり、目を合わせてくれることも増えてきました。

五十一年間の在宅生活、御両親の御苦労は大変な事だったでしょう。でも、家出の生活は制約があり、限界がありました。今彼女は、光生園での一つ一つの、まるで始めての経験であるかのように、乾いた砂が水を吸い込むように、たった八カ月でいろんなものを吸収してくれています。まだまだ、彼女は発展途上人。人生これからだよ！ たくさん、たくさん、応援するからね！

ひかり通信

『この愛すべき人たち』

担当利用者四名のうち、癲癇発作の多い方が二名います。その方々が発作を起こした際に、心配そうに視線を送り、回復後に寄っていった片言声をかけたり、名を呼んだり、スキンシップとったりするのが・・・これは偶然なのですが、あとの二名なんです。偶然とはいえしみじみと嬉しいのです。皆が観ているビデオのコードを、通りかかって足にひっかけたり、触って故意ではなく抜けてしまいうーイングを受けるといふ、似たようなことをしてしまうのもこの二人。「誰だ?こんなことをしたのは!」との、いたずら犯人容疑者に真っ先に名をあげられるのもこの二人・・・尚貴と昭太。

おやつの時、職員に声をかけられても、珍しく耳に届かず、気持ちが一集中。その視線の先を追うと、声かけた職員も気づいていなかった亮さんの発作。亮さんはすぐに隣の部屋の静養台に移動。おやつ後、帰り支度の移動の際に、亮さんのいる所へ寄り道して

「亮君、もう大丈夫だね。」と独り言。様子を確かめてから支度に向かう堀江さん。

“やさしいのね”なんて評価は、あなたの気持ちとは微妙にかみ合わないのだろうと思います。

《住本》

『質問 これでもいいんかい?〇〇班』

尾澤章雄さん。海岸では会う人会う人に元気になれるほどの気持ちのいい挨拶、「こんにちわ!」。

小柴直樹さん。こちららも章雄さんに負けず劣らずとてもいい表情で手を挙げての挨拶、『オース!』。

庄司昌宏さん。ジャスコでは健康器具のお試しコーナーで、ニコニコしながら足踏みをし、イチニ、イチニ。

土井淳史さん。ベイシアやケーズデンキでは、自分の興味のあるものを色々見回ってニコニコ。

長谷川浩史さん。犬が苦手な為、散歩に来ている方の犬の動きを鋭く観察をし、ドキドキ。

廣瀬正明さん。ケーズデンキでは、カメラや携帯電話を見て、職員が固まる一言、

「これ、買うか?」

前田文代さん、サーフィンに来ている若いお姉ちゃんにウツトリ。

【わかります・・・その気持ち】

前田元代さん。浜辺をとっても楽しそうに

スキップ・スキップ・ラン・ラン・ラン。

このメンバーは何班かわかりますか?

多分、わからないと思います。実は、様々な人達との交流を目的とした、『カメラ・写真班』です。

毎回毎回、写真を撮らずに遊んでいるわけではないのですが、冒頭の質問への答です。

「よか、余暇!」



《佐々木》

『さあ、みんなで考えよう』

父親になってこのことを思うことがある。

この子が生きてゆく社会はどんなものだろうか
と。

今までの福祉は、ひとつの「箱」を作りました。
た。いっばいになると次の「箱」を作りました。
色々な理由付けがされ、段々と「箱」は大きく
なり、詰められるだけ詰め込まれるようになり
ました。時が過ぎ、「ある理念」から「大きな箱」
は「小さな箱」に変っていきます。そして、「一
人一つの箱」へと・

一九八一年国際障害者年から二〇数年、支援
費制度の波が打ち寄せました。今度は、グラン
ドデザインの大きな波が来ています。この時代の流
れに対して、色々ある理由付けではなく、「ある
理念」を持って、一〇年、二〇年後、次世代の
ものを作っていかなければいけません。いつの
時代もそうだった様に、考えるのは他の誰でも
ない私たちなのです。

もう一度、バンク・ミケルセンの「ノーマラ
イゼーション」という言葉、法人の「共に生き
る」という理念を考えてみましょう。そして、
我が子についてたくさん話し合ひましょう。愚
痴にならないように。

《井上》

『彼女の好きな物は？』

彼女の好きな物・・・それはぬりえ、それともパ
ズル、それともお絵かき、それとも音楽、それとも
アニメ、それともダンス、色んなことにチャレンジ
し、どれも三日、いや二日くらいでもう飽きてしま
う。

何とか彼女の楽しんでいる顔が見たくて、いつも
彼女の行動から目が離せません。だって彼女の笑顔
は本当に最高なんです。見ている私たちも明るくな
れるんです。でも、いつも突然なので見逃してし
まう事があるんです。

だから彼女の好きな物を見つけて、毎日毎日笑顔
で過ごしてほしいんです。でも難しいですね。嫌な
事はすぐ分かるのに・・・。

例えば運動、その中でも散歩は、連れ出すのが一
苦労の時も。そんな時は、歌を歌ったり、一緒に歩
いたり、その内気分も良くなってきて、一緒に歌っ
たり、好きな物ってこんな時に使っと笑顔が見られ
るんだなあ、と思います。

いつか、本当の“好きな物”を見つけて、毎日笑
顔で過ごせるよう、ずーっと傍についているけど嫌
がらないで研究させてネ、里菜さん。

《川名》

光陽

『いくつになってもバレンタインデー♡』

二月十四日はバレンタインデー。若者だけのものではありません。いくつになっても乙女心は変わらないのです。

短期入所を利用されている、サトさん。とても愛嬌のあるかわいいおばあちゃんですが、今年はちょうどバレンタインデーと短期入所の利用日が重なりました。今年の企画は、お年寄りが日頃から思いを寄せる男性職員にチョコを渡すというもの。サトさん、色々考えた末に、日頃お世話になっているケアマネージャーの山田さんにチョコを渡すことにしました。

いざ、チョコレートを渡そうと山田さんの元に向かうとするサトさん、職員が考えていた以上に興奮気味。女性職員を相手に何度も練習を重ねます。

「好きです、山田さん♡・・・」と。

心をこめたサトさんのこの声が、偶然にも隣の部屋で接客をしていた山田さんの耳に！

接客を終えた山田さん、ドキドキしながら、一目散にサトさんの元に飛んできました。

向かい合う二人。サトさん、少しうつむきながら、ほほを染め、興奮気味に、

「好きです」とチョコレートを差し出し、愛の告白。

笑顔で受け取る山田さん。

サトさん、続けて

「私、あと五年生きられるのかしら？」

山田さん、乙女心に応え、

「私が、五年、いや、十年必ず守ります！」と、

力強く一言！

ほほを染め、

「ありがとね！」と笑顔で応えるサトさん。

サトさん、五年なんていわないで、ずっと元気でいて下さいね。



(短期入所担当 笹子)

『ひとりごと』

先日参加した介護保険関係のセミナーである大学教授の研究発表。ある県の高齢者実態調査で施設に入所されているお年寄りに、施設入所の希望を聞いてみたところ、

希望して入所されている方が二二%、

仕方なく希望した方が二七%、

希望していない方が三三%、

その他、不明の方が一八%

だったんだって。

介護保険って、利用者の自己選択、自己決定が基本じゃなかったのかしら。「仕方なく」「希望しない」合わせて六〇%の方は、誰の選択、決定で入所したのかしら？(でもよくこんなこと聞けたもんだね！)

(KA3810RU)

「サンバのリズムのひな祭り」

毎年恒例行事のひな祭り会。

春の到来を感じさせる穏やかな日にサンバのリズムで身も

心も陽気になった一日でした。

サンバといえば「産婆」で

はなく、今年老若男女を問わずに大流行した

『マツケンサンバ』。お年寄りを驚かそうと、

数日前から若手男性職員三名がビデオリサーチしながらサンバのステップと独特な腰振り

を繰返し練習し、なんとかマスター。当日は

かつらを着け、スパンコールのきらびやかな

衣装(もちろん自前です)を身にまとい、いざ

ステージへ。

その勇姿に涙を流して笑っている方、呆然

として感動？している方等、反応は様々でした

が、つかみはOK。歌のさびでは『マツケン

サンバ』のフレーズの後、皆で手を高く上げ

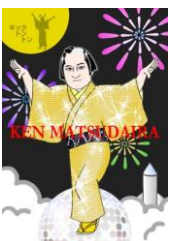
たポーズで『オーレ』の大合唱。後日、私

たちの真似をして(?) 本家が東京ドームで

盛り上がったようですが、三芳光陽園ドーム

(別名食堂)は、一足先の大盛り上がりでした。

た。



(三芳光陽園のマツケン

田中大助)



湊ひかり学園

学園新聞



「モテたいシート」

私、マサエ。今日は二月十四日、バレンタインデーなの。チョコシートもみんなに渡しだし、そろそろお茶でもしようかしら？

あつ、何？ あのス。「モ・テ・た・い・シ・ー・ト」ですって！ しかもB先生とC先生が座ってる。深刻な顔をしてどうしたの？

んー、あつ、わかった！ 「モテたい」のね！
いいわよつ、マサミちゃん、タケミちゃん一緒に来てっ！

先生、このチョコ食べてね！ 私たちからのプレゼント。これ、義理チョコじゃないよ！ 友チョコだからねっ！

んっ、友チョコに感動しちゃったって？ 先生、泣かないでよっ！ あゝでも、そんなに感動してくれたなんて、友チョコ、今年の流行語大賞とれるかしら？ えっ何、涙の塩味が効いてとっても甘いって？ もゝ何言ってるのよゝ！

マサエさんのやさしさにちよっぴりロマンチックな気分浸っていた男性職員二名でした。



「ニュース&トピックス」

児童デイサービスセンター開設へ

湊ひかり学園のデイサービスセンターでは地域の障害児童の保護者の方々からは、湊ひかり学園で日常生活指導や社会適応訓練を受けさせて欲しいとの強い要望を多数いただきました。私共湊ひかり学園も地域密着型の

施設、保護者の方々の熱い想いに答えるため、平成十七年四月一日に開設いたします。

*営業日時

十五時～十八時（月～金曜日）

十時～十四時半（土、日曜日、祝祭日）

お問い合わせはこちらにお願い致します。

湊ひかり学園 児童デイサービスセンター

TEL: 〇四三九一七〇一六五五

FAX: 〇四三九一六七一三三

車椅子対応車両を購入しました

日本財団様の助成金交付を受けて、マツダ・プレマシー（車椅子対応）を一台購入致しました。送迎や利用者の外出等に、既に活躍しています。



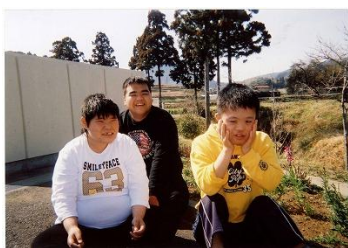
～ちょっといっぱい～



三芳の春



曾呂（鴨川）の春



豊岡の春



湊の春



薄光会 写真館

各施設で見つけた春をお届けします。

【編集後記】

きらめき第四号をお届け致します。
利用者たちの“元氣”と“笑い”を
お届け出来たら嬉しいと思っておりま
す。

『NHK歳末たすけあい』より、豊
岡光生園、鴨川ひかり学園、湊ひかり
学園で、それぞれ二十万円相当の電化
製品の寄付を戴きました。ありがとう
ございました。大切にに使わせていた
だきます。

法人広報委員会